

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年5月分 【速報】

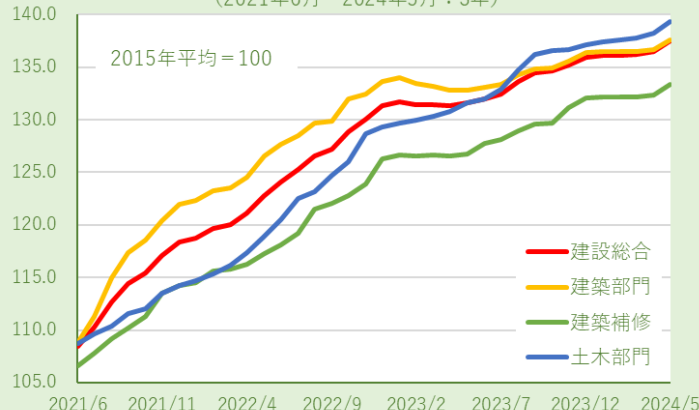
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

5月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**137.5**となり、前月比+1.0ポイント(+0.7%)と**13**カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+5.9ポイント(+4.4%)となった。部門別では、**建築部門**が**137.6**となり、前月比+0.9ポイント(+0.7%)と**2**カ月連続の上伸となった。前年同月比では+4.8ポイント(+3.6%)となった。**建築補修**が**133.4**となり、前月比+1.0ポイント(+0.7%)と**2**カ月連続の上伸となった。前年同月比では+6.6ポイント(+5.2%)となった。**土木部門**が**139.3**となり、前月比+1.1ポイント(+0.8%)と**2020年5月以来48**カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+7.7ポイント(+5.9%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年6月～2024年5月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【化学製品】塗料

顔料や樹脂などの原材料費ならびに人件費の高騰を要因とした製品価格の上伸が指数動向のプラスに寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

先月に引き続き、原材料である銅の高騰によって製品価格が上伸し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【紙・木製品】合板類

一部地域にて、需要低迷を背景に、決算期の値下げを引きずる続落が指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



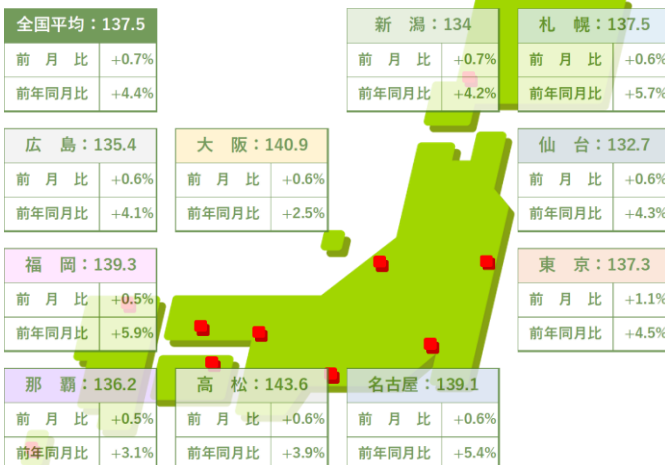
3. 都市別の動向（建設総合部門）

前月比+1.1%となった【東京】では、製造コストの増加を背景とした協同組合の値上げが浸透した生コンクリートや、原材料費や輸送コストの増加を転嫁したアスファルト混合物、メーカーによる値上げに加え、流通業者の人件費や輸送コストの増加による値上げが浸透したH形鋼などが指数動向のプラスに寄与した。

前月比+0.7%となった【新潟】では、上記の生コンクリートや形鋼の価格の上伸のほかに、鋼管や建築用金属製品の値上げが指数動向のプラスに寄与した。

また、前月比+0.6%となった【高松】では、軌条などの重量鉄骨や土質安定処理用の生石灰の値上げが指数動向のプラスに寄与する結果となった。

各地の建設総合部門の指数【5月分】



一般財団法人

建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp